

静岡市茶青 和田さん初V

全国茶審査 団体は準V

第71回全国茶審査技術競 開かれた。若手茶商137 力を産地の飲み当りなど4 人が、茶の品質を見極める 種目で競った。県勢は団体



個人戦で初優勝し団体之位にも貢献した和田夏樹さん。いずれも静岡市葵区で

戦で、静岡市の茶商でつく 静岡茶業青年団(市茶青) が、連覇は逃したものの準 優勝に輝いた。



団体戦で準優勝した静岡茶業青年団の代表選手ら

市茶青は個人戦で和田夏樹さん(38)が初優勝、原料和馬さん(32)が準優勝と活躍し、団体の得点を伸ばした。代表選手10人らは8月から5回の強化練習を重ねた。成岡敬悟団長(38)は「予選から全国大会へと皆が頑張ってくれての準優勝。今後のかてにしたい」と振り返った。

市茶青の個人優勝は藤田浩介さん以来8年ぶり。和田さんは7大会連続で全国大会の代表に選ばれ、2019年には個人準優勝。今回はさらに上回り「団体優勝に向けて皆がベストを尽くす」という気持ちで挑んでいる」と喜んだ。

7日に開かれた大会には13茶業青年団が参加。団体戦は各団10人のうち、個人成績の上位8人の合計得点で競った。県勢2団体のうち、同市を除く県内各地の茶商でつくる県茶業青年団は7位だった。

(松本利幸)

主な成績は次の通り(同点の順位決定は規定による)。

【団体】①京都287点 ②静岡市272点③宮崎270点④福岡265点⑤大阪259点⑥鹿児島258点⑦静岡県256点⑧三重249点⑨東京⑩滋賀⑪山陰⑫瀬戸内⑬岐阜

【個人】①和田夏樹(静岡市) ②原料和馬(同) ③田宮彰悟(京都) ④小島康稔(同) ⑤38点⑥前野裕蔵(滋賀) ⑦仲純輝(京都) ⑧利田直紀(同) ⑨木屋雄介(福岡) ⑩中村晃(静岡) ⑪37点⑫多田雅典(大阪) 36点